

宮城県立精神医療センター市町村アンケート 集計結果（N=34）

調査概要

目的

精神医療センターの新病院の医療機能等に関する検討に当たり、地域精神保健福祉において住民に身近な行政機関として相談支援の実施や地域包括ケアシステムの構築の中核的な役割を担っている市町村の現状・課題やニーズの把握を行う。

調査期間

令和7年11月18日（火）～28日（金）

調査内容

巻末の調査票参照

配布方法

県から、仙台市を除く県内の34市町村へメールで照会し、県電子申請システム「LoGoフォーム」により回収した（仙台市については、別途「保健所アンケート」により照会を行った）。

回答者数

34市町村（回収率100%）

※構成比については、端数処理の都合により個々の集計値が100%にならない場合がある

1 精神医療提供体制について

(1) 貴市町村の立場から見た精神医療提供体制の現状について、どのようにお考えですか

項目	件数	構成比
充足している	2	5.9%
一部課題があるが、おおむね機能している	14	41.2%
多くの課題があり、改善が必要である	17	50.0%
深刻な課題があり、早急な対策が求められる	1	2.9%
合計	34	100%

(2) 貴市町村の立場から見た精神医療提供体制の現状について、特に課題と感じている点(最大3つまで)

項目	件数	構成比
精神科医師、看護師、精神保健福祉士（PSW）等の専門職の不足	11	12.0%
入院病床（急性期、慢性期、児童思春期等）の不足	9	9.8%
専門性の高い医療（認知症、依存症、児童思春期等）の提供体制が不十分	11	12.0%
精神科病院への交通アクセスが不便	15	16.3%
医療機関と福祉施設、行政等の連携が不足している	8	8.7%
精神科救急医療体制が脆弱である（24時間365日の対応が難しいなど）	5	5.4%
身体合併症を診察できる医療機関が不足している	9	9.8%
退院後の地域生活を支える福祉サービス（グループホーム、就労支援等）が不足している	12	13.0%
アウトリーチ（訪問支援）体制が不十分である	5	5.4%
当事者や家族を支える自助グループや相談窓口が不足している	2	2.2%
特に課題は感じていない	1	1.1%
その他	4	4.3%
合計	92	100%

1-(2) その他（自由記述）

- ・ 新患受付枠の狭さ（予約がなかなか取れない）、外来待ち時間の長さ
- ・ 市内に精神科医療機関がなく専門医・専門職が不足している。また、近隣市にも救急対応してもらえる医療機関が不足していることに不安がある。近隣市や遠方の医療機関を受診するが、数か月待つ状態でタイムリーな受診・治療につながる事が難しい。
- ・ 保健所または市町村において、早急に受診が必要と判断される人がいた場合、新患予約がすぐに取りえず受診できない。
- ・ 新患の予約が先になってしまうこと

1 精神医療提供体制について

(3)貴市町村の住民が抱える精神疾患に関するニーズとして、特に高いと思われるもの

項目	件数	構成比
認知症	12	12.4%
うつ病	9	9.3%
統合失調症	23	23.7%
発達障害	24	24.7%
児童思春期精神疾患	8	8.2%
依存症（アルコール、薬物など）	16	16.5%
不明/把握していない	0	0.0%
その他	5	5.2%
合計	97	100%

1-(3)その他（自由記述）

- ひきこもり
- 人格障害
- 精神疾患があると思われる、未治療者、ひきこもり者
- 双極性感情障害
- 強度行動障害の方の医療連携・入院による服薬調整などの入院加療
- 身体障害を合併している方の診療

2 現在の県立精神医療センターとの連携状況について

(1)現在の県立精神医療センターの役割や対応について、総合的にどのように評価されていますか

項目	件数	構成比
とても満足している	0	0.0%
おおむね満足している	14	41.2%
どちらともいえない	16	47.1%
あまり満足していない	4	11.8%
全く満足していない	0	0.0%
合計	34	100%

(2)現在の県立精神医療センターと、貴市町村との連携状況について、どのように評価されますか

項目	件数	構成比
十分に連携できている	0	0.0%
ある程度連携できている	20	58.8%
あまり連携できていない	9	26.5%
全く連携できていない	0	0.0%
該当する連携がない／わからない	5	14.7%
合計	34	100%

(3)県立精神医療センターにおける退院支援・地域移行支援について、どの程度充実していると感じますか

項目	件数	構成比
非常に充実している	0	0.0%
ある程度充実している	18	52.9%
あまり充実していない	6	17.6%
まったく充実していない	2	5.9%
該当事例がない／わからない	8	23.5%
合計	34	100%

(4)貴市町村が、県立精神医療センターに対して相談や助言を求めた際の対応について、どのように感じていますか

項目	件数	構成比
適切に対応されている	4	11.8%
ある程度適切に対応されている	17	50.0%
あまり適切に対応されていない	6	17.6%
まったく適切に対応されていない	1	2.9%
対応を求めたことがない	6	17.6%
合計	34	100%

2 現在の県立精神医療センターとの連携状況について

(5)県立精神医療センターとの連携において、現在課題だと感じていること(最大3つまで)

項目	件数	構成比
情報共有の不足	9	14.1%
入院や診療の受け入れ困難	14	21.9%
担当者との連絡・連携体制	6	9.4%
退院後の支援の引き継ぎ	12	18.8%
地域への支援活動の不足	6	9.4%
特に課題は感じていない	6	9.4%
その他	11	17.2%
合計	64	100%

2-(5)その他（自由記述）

- 遠いのでケースが少ない
- 退院支援会議は、必要に応じオンラインでも可能にしていきたい
- 距離
- 外来通院者で、担当相談員等がない場合の情報連携が難しい
- 急性期の入院機関としての認識が強く、子どもや老人の診療情報、地域支援のメニューなど、情報発信を教育・子ども・高齢者など各分野にしてほしい
- 主に措置入院患者のケースでの連携はあるが、遠方のためケア会議への参加がしにくい。オンライン会議等積極的な導入を期待したい
- 遠方のため通院するケースは少ない
- 地域連携室の職員との連絡がタイムリーにとれない状況があり、職員や直通電話等の連絡体制の充実があるとよい
- 強度行動障害の方の医療連携・入院による服薬調整などの入院加療
- 遠いこともあり、あまりケースがないが、関わっているケースは連携できていることが多いと思う
- 「通院患者には担当医療相談員はつかない」という病院側のスタンスがあるため、退院後の地域生活での困り感や、病状が悪化している場合に相談できる窓口が病院側に無いことが、関係機関との連携を困難にしている
- 地理的な課題があり受診しづらい。医療保護入院、措置入院等を経て退院した後に受診を継続できず、状態が悪化したり再入院となるケースがある。地域により、退院後に都市部と同じようなサポートや入所施設が整っていない場合もあるため、地域に応じたサポートをお願いしたい。
- 医師によって支援状況に差があること

3 建替え後の新たな県立精神医療センターへの要望と期待について

(1)建替え後の新病院に、どのような医療機能の強化・整備を期待しますか(最大3つまで)

項目	件数	構成比
先進的な治療の推進	2	2.1%
精神科救急・急性期医療（夜間救急を含む）	22	22.9%
治療困難・高度な事例への対応	19	19.8%
災害精神医療（D P A T派遣含む）	3	3.1%
器質因鑑別・身体合併症への対応	4	4.2%
児童・思春期精神医療	14	14.6%
発達障害医療	8	8.3%
依存症医療	3	3.1%
精神科リハビリテーション・心理社会的支援	2	2.1%
うつ・ストレスケア医療	5	5.2%
教育・研究機能	0	0.0%
デイケア・訪問看護	2	2.1%
結核・新興感染症者への対応	0	0.0%
司法精神医療	2	2.1%
周辺の社会資源と連携した医療提供体制の構築	7	7.3%
精神医療に関する啓発活動	2	2.1%
その他	1	1.0%
合計	96	100%

3-(1)その他（自由記述）

- 新患の受け入れ枠の拡充

3 建替え後の新たな県立精神医療センターへの要望と期待について

(2)退院する患者の地域生活への移行を支援するために、貴市町村と新病院が連携して特に取り組むべき事項は何だと考えますか(最大3つまで)

項目	件数	構成比
退院調整会議への積極的な参加	13	13.3%
医療・福祉・住居に関する情報共有体制の構築	19	19.4%
訪問看護やアウトリーチ支援の推進	12	12.2%
居場所づくりや当事者活動の支援	3	3.1%
地域支援機関向けの研修・技術支援	6	6.1%
家族向けの相談や支援プログラム	9	9.2%
ケース検討会等への医師・専門職の参加	7	7.1%
困難ケースを受け入れる専門機関として位置づける	25	25.5%
入院医療の提供への特化	2	2.0%
その他	2	2.0%
合計	98	100%

3-(2)その他（自由記述）

- ・ 特に入退院を繰り返しているような通院患者だけにでも、 担当の医療相談員がついていると、情報共有体制が取れると考える
- ・ 退院支援にむけた丁寧な関係構築

3 建替え後の新たな県立精神医療センターへの要望と期待について

(3) 県立精神医療センターの建替えに際し、特に期待する点や要望

3-(3) 自由記述

- 8050問題で高齢者虐待（家庭内暴力）が増えている。自立を目指すための退院先、支援をしっかりとしてほしい。
- 初診時、電話で概要を確認していると思うが、内容によって断られることがある。地域の支援者がアセスメントをしたうえで受診につなげているケースについては、まずは診察してもらいたい。
- 県立精神医療センターが立地している近隣市町村だけでなく、県全域への支援や協力が得られる体制整備をしてほしい。
- 県北への支援も積極的に行ってほしい。
- 現在、当町からは物理的な距離があり、町民は県立医療センターへ継続的な通院が困難な状況であると考えられる。行政の立場としても、町民が物理的な距離により受診できないことを想定し、ケースの相談を県立精神医療センターへ実施できていなく、そういった面から連携体制は構築できていないと感じる。建て替えに関しては、アクセスが容易な場所へ立地いただきたい。また、オンライン診療やアウトリーチ機能があれば大変ありがたいと考える。加えて、行政が相談できる体制も整備いただきたい。基幹病院として、どのようなことを行政は相談できるのか活用できるのか、県立精神医療センターについて周知いただく機会があれば、大変参考になると感じる。
- 病院が遠く受診に繋がらないケースや通院継続ができないケースがある。県北の病院連携またはアクセスについて課題と考える。特に、救急受診の必要な場合の移送の課題があるため、検討願いたい。
- 他医療機関で受入ができない場合や困難ケースの相談や受け入れ対応先となり、地域へのバックアップ体制をより強化していただきたい。
- 県北からも受診しやすいような土地、アクセスをお願いしたい。
- 家庭・地域の福祉では限界を迎え、より高度な専門性・経験を有する精神医療センターへの協力を求めても断られる対応困難ケースが複数ありました。
- 県立の医療センターとして、最後の砦ではありませんが、その役割を担っていただきたいと期待しています。
- 認知症患者の増加による対応困難な事例の増加が想定されるので、これまで以上の連携を強化してほしい。
- 8050問題の解決に向けた協力体制の構築をお願いしたい。
- 地域と連携したこころの健康づくりの普及啓発を取り入れてほしい。

(参考) 調査票

【参考】市町村アンケート設問

1 精神医療提供体制について

(1) 貴市町村の立場から見た精神医療提供体制の現状について、どのようにお考えですか。以下の中から最も近いものをお選びください。

- ☐ 充足している
- ☐ 一部課題があるが、おおむね機能している
- ☐ 多くの課題があり、改善が必要である
- ☐ 深刻な課題があり、早急な対策が求められる

(2) 貴市町村の立場から見た精神医療提供体制の現状について、特に課題と感じている点を3つまでお選びください。

- ☐ 精神科医師、看護師、精神保健福祉士（PSW）等の専門職の不足
- ☐ 入院病床（急性期、慢性期、児童思春期等）の不足
- ☐ 専門性の高い医療（認知症、依存症、児童思春期等）の提供体制が不十分
- ☐ 精神科病院への交通アクセスが不便
- ☐ 医療機関と福祉施設、行政等の連携が不足している
- ☐ 精神科救急医療体制が脆弱である（24時間365日の対応が難しいなど）
- ☐ 身体合併症を診療できる医療機関が不足している
- ☐ 退院後の地域生活を支える福祉サービス（グループホーム、就労支援等）が不足している
- ☐ アウトリーチ（訪問支援）体制が不十分である
- ☐ 当事者や家族を支える自助グループや相談窓口が不足している
- ☐ 特に課題は感じていない
- ☐ その他（具体的に記入ください）

(3) 貴市町村の住民が抱える精神疾患に関するニーズとして、特に高いと思われるものを3つまでお選びください。

- ☐ 認知症
- ☐ うつ病
- ☐ 統合失調症
- ☐ 発達障害
- ☐ 児童思春期精神疾患
- ☐ 依存症（アルコール、薬物など）
- ☐ 不明/把握していない
- ☐ その他（具体的に記入ください）

2 現在の県立精神医療センターとの連携状況について

(1) 現在の県立精神医療センターの役割や対応について、総合的にどのように評価されていますか。

- ☐ とても満足している
- ☐ おおむね満足している
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまり満足していない
- ☐ 全く満足していない

(2) 現在の県立精神医療センターと、貴市町村との連携状況について、どのように評価され

【参考】市町村アンケート設問

ますか。

- ☐ 十分に連携できている
- ☐ ある程度連携できている
- ☐ あまり連携できていない
- ☐ 全く連携できていない
- ☐ 該当する連携がない/わからない

(3) 県立精神医療センターにおける退院支援・地域移行支援について、どの程度充実していると感じますか。

- ☐ 非常に充実している
- ☐ ある程度充実している
- ☐ あまり充実していない
- ☐ まったく充実していない
- ☐ 該当事例がない/わからない

(4) 貴市町村が、県立精神医療センターに対して相談や助言を求めた際の対応について、どのように感じていますか。

- ☐ 適切に対応されている
- ☐ ある程度適切に対応されている
- ☐ あまり適切に対応されていない
- ☐ まったく適切に対応されていない
- ☐ 対応を求めたことがない

(5) 県立精神医療センターとの連携において、現在課題だと感じていることがありましたら、3つまでお選びください。

- ☐ 情報共有の不足
- ☐ 入院や診療の受け入れ困難
- ☐ 担当者との連絡・連携体制
- ☐ 退院後の支援の引き継ぎ
- ☐ 地域への支援活動の不足
- ☐ 特に課題は感じていない
- ☐ その他（自由記述）

3 建替え後の新たな県立精神医療センターへの要望と期待について

(1) 建替え後の新病院に、どのような医療機能の強化・整備を期待しますか。3つまでお選びください。

- ☐ 先進的な治療の推進
- ☐ 精神科救急・急性期医療（夜間救急を含む）
- ☐ 治療困難・高度な事例への対応
- ☐ 災害精神医療（DPAT派遣含む）
- ☐ 器質性認知・身体合併症への対応
- ☐ 児童・思春期精神医療
- ☐ 発達障害医療
- ☐ 依存症医療
- ☐ 精神科リハビリテーション・心理社会的支援
- ☐ うつ・ストレスケア医療
- ☐ 教育・研究機能
- ☐ デイケア・訪問看護
- ☐ 結核・新興感染症者への対応
- ☐ 司法精神医療

【参考】市町村アンケート設問

- ☐ 周辺の社会資源と連携した医療提供体制の構築
- ☐ 精神医療に関する啓発活動
- ☐ その他（自由記述）

(2) 退院する患者の地域生活への移行を支援するために、貴市町村と新病院が連携して特に取り組むべき事項は何だと考えますか。3つまでお選びください。

- ☐ 退院調整会議への積極的な参加
- ☐ 医療・福祉・住居に関する情報共有体制の構築
- ☐ 訪問看護やアウトリーチ支援の推進
- ☐ 居場所づくりや当事者活動の支援
- ☐ 地域支援機関向けの研修・技術支援
- ☐ 家族向けの相談や支援プログラム
- ☐ ケース検討会等への医師・専門職の参加
- ☐ 困難ケースを受け入れる専門機関として位置づける
- ☐ 入院医療の提供への特化
- ☐ その他（具体的にご記入ください）

(3) 県立精神医療センターの建替えに際し、特に期待する点や要望があればご記入ください。
（自由記述）